

畜産学部 肉用牛科

学生数の推移

期	定員	男	女	計
4 2 期生	2 5	1 7	4	2 1
4 3 期生	2 5	2 1	5	2 6
4 4 期生	2 4	2 0	4	2 4
4 5 期生	2 5	1 9	4	2 3
4 6 期生 (2 年生)	2 5	2 1	3	2 4
4 7 期生 (1 年生)	2 5	2 0	4	2 4

職員

学 部 長 教授 木之下明弘

2 年生担任 教授 田上 美紀 教授 下副田充志

1 年生担任 准教授 栗山典友喜 講師 清藤 達也

主任技術補佐員 満園 康雄 宮内 博光

主な行事等

月	1年次	2年次
4月	入学式（オリエンテーション）4/10	始業式
5月	トラクター研修（単体）5/7～10 就農相談会5/31, 農場引継ぎ（開始）	就農相談会
6月	トラクター研修（けん引）6/3～7 経営プロジェクト計画検討会 土日農場引継ぎ（開始）	農場引継ぎ（終了）
7月	研究プロジェクト計画検討会 校内体育大会7/24	経営プロジェクト実績発表会 家畜商講習会
8月	夏休み（農場管理当番）	
9月	九州地区農大親善体育大会（宮崎） 9/12～13	九州地区農大親善体育大会（宮崎） 卒業論文発表会
10月		長期農家留学研修（県内40日間）
11月		
12月	農大祭12/7	農大祭 校内プロジェクト発表会 2級削蹄師認定講習会・試験
1月		家畜人工授精師講習会
2月		海外研修 退寮式
3月	学年終了	卒業式

農場担当

農場担当

畜産学部肉用牛科履修科目一覧

科目名		1年	2年	AI必須
教養科目	人間関係論		●	
	くらしと法律		●	
	体育	●	●	
	外国語（英会話）	●	●	
	情報処理	●		
共通科目	農業経営基礎	●	●	
	農業簿記	●	●	
	農業気象概論		●	
	農業機械利用Ⅰ	●		
	農業機械利用Ⅱ	●		
	農業機械応用	●		
	農業概論	●		◎
	環境保全型農業		●	
	農産物の安心・安全		●	
	土壌肥料基礎	●		
	農業法人		●	
	農業協同組合とリーダー		●	
	GAP概論	●		
	6次産業化論		●	

科目名		1年	2年	AI必須
専攻科目	家畜栄養	●	●	◎
	家畜飼養管理		●	◎
	畜産施設		●	
	家畜育種	●	●	◎
	家畜解剖Ⅰ	●		◎
	家畜解剖Ⅱ	●		◎
	家畜生理	●		
	家畜繁殖	●	●	◎
	飼料作物	●	●	
	家畜衛生	●	●	
	家畜人工授精	●		
	畜産環境保全	●		
	肉用牛経営各論	●	●	◎
	畜産流通加工	●		
	畜産政策		●	◎
	生物工学総論	●		◎
	受精卵移植		●	◎
	家畜登録審査	●		◎
	卒業論文	●	●	
	生物工学実習	●	●	◎
	専攻学習	●	●	◎
	農家留学研修		●	
スマート農業概論	●			

取得可能な資格等

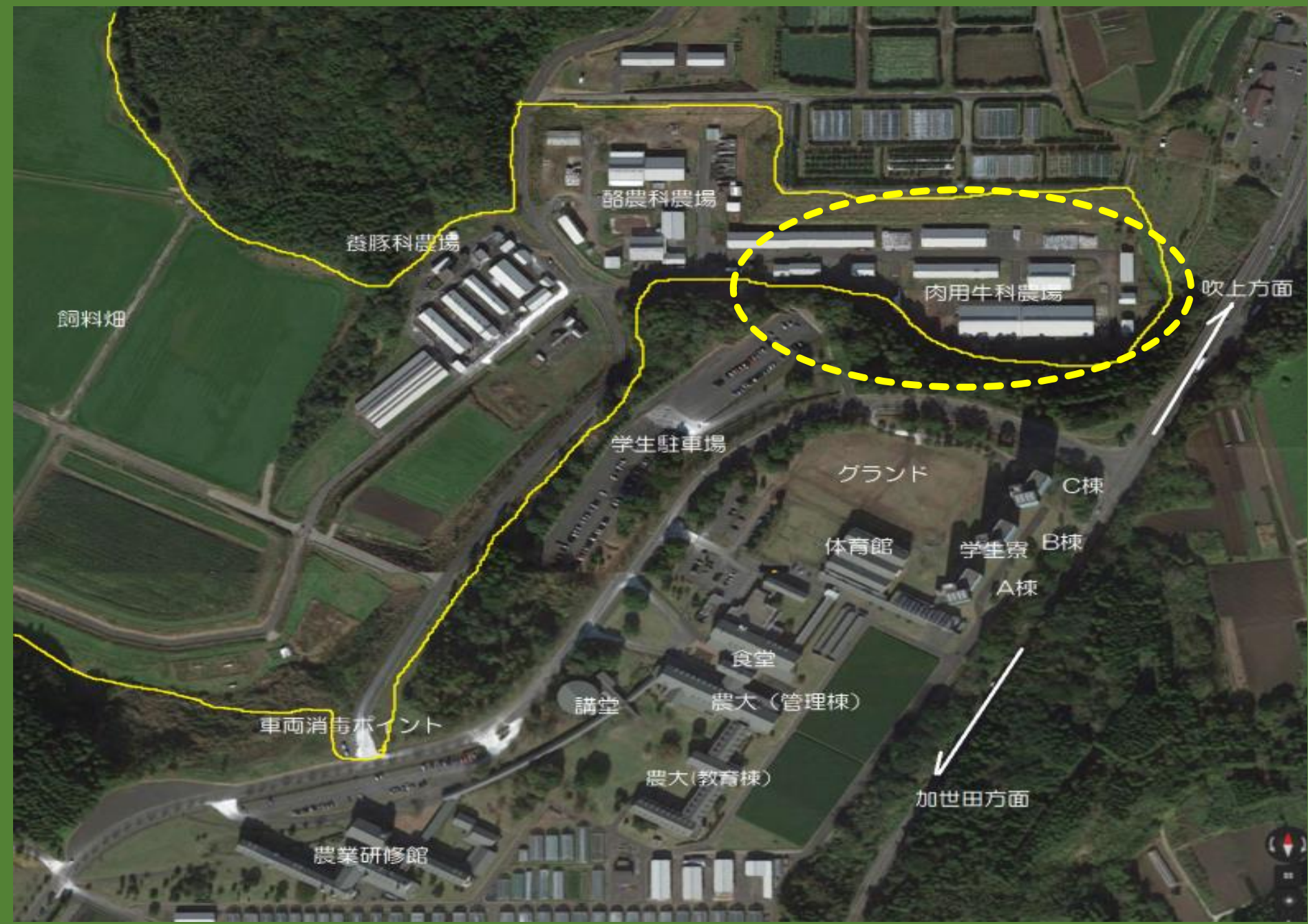
- (1) 大型特殊自動車運転免許（農耕用）
- (2) 毒物・劇物取扱者資格
- (3) 危険物取扱者資格
- (4) 大型特殊自動車けん引免許（農耕用）
- (5) 家畜商免許資格
- (6) 家畜人工授精師免許資格(牛)
- (7) 2級牛削蹄師
- (8) フォークリフト講習
- (9) 小型車両系講習
- (10) 玉掛け講習
- (11) アーク溶接
- (12) 小型移動式クレーン



進路状況

進路区分	43期生	44期生	45期生
就農（直接, 法人）	25	15	14
研修（研修後就農）	0	2	0
就職（農業団体, 企業, 公務員）	1	3	5
進学（研究科, 4大）	0	4	5
計	26	24	23

肉用牛科農場



畜産学部 肉用牛科施設



農場実習教育

- ・ 農業大学校畜産学部肉用牛科の学生を教育するための実習，研究等を行う農場を管理運営している。
- ・ 農場において，講義等により学んだ理論・知識や技術を用い，学生自ら肉用牛の繁殖から肥育までの飼養管理や飼料作物の栽培管理，糞尿処理等の作業を行う。
- ・ 肉用牛農場の管理運営を実践することにより，肉用牛経営に必要な技術習得と就農等に向けた意欲や経営者意識の醸成を図る。
- ・ 学生が各々課題を設定して調査研究活動に取り組むことにより，課題解決能力の向上を図る。

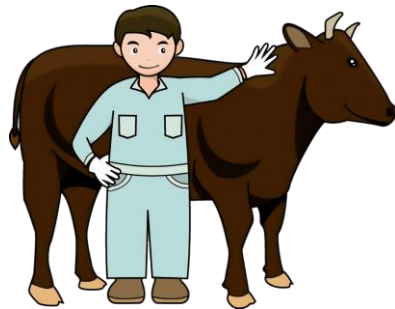
プロジェクト学習

経営プロジェクト

○講義，研修等での学習を農場で実践し，

「飼養・栽培技術習得」
「農場の運営の仕方」
「経営管理技術」

を学ぶ。



研究プロジェクト

○知識技術をより深めるため，

- ・ 学生個々が課題を持ち，
- ・ 調査や試験を行い，
- ・ 分析し，
- ・ 結果をとりまとめ，
- ・ 発表する。



農場実習の体制

飼養頭数

(R6.4.1 現在)

生産牛	育成牛	子牛	肥育牛	計
34頭	8頭	17頭	39頭	98頭

飼料畑

約7ha

夏：白ヒエ

冬：イタリアンライグラス

飼料確保目標

ロールベールサイレイージ 年間約300個（1個420kg）

農場実習期間：7月から翌年6月までの1年間

専攻班

生産班，子牛班，肥育班に分かれて飼養管理と経営プロジェクト，研究プロジェクトに取り組む。

※ 飼料班は希望者により編成（任意）

専攻コース	46期生（2年生）	45期生（卒業生）
生産コース	9	6
子牛コース	8	9
肥育コース	8	8

農場管理分担表

農場・副農場長



- 1 農場管理運営総括
- 2 月間農場管理の運営計画作成 と連絡作業
- 3 副農場長は農場長を補佐する

生産班

- 1 飼養管理
- 2 繁殖管理
発情観察
人工授精,
受精卵移植
妊娠鑑定
分娩管理
- 3 衛生管理
- 4 経営管理

子牛育成班

- 1 飼養管理
人工哺乳
育成管理
- 2 衛生管理
ワクチネーションプログラム
子牛下痢予防プログラム
消毒法
- 3 経営管理

肥育班

- 1 肥育牛管理
- 2 給与技術,
防暑防寒技術
の習得
- 3 疾病の早期発見
早期治療
- 4 牛群管理, 素牛
選定技術
- 5 産肉・肉質等級
知識の習得
- 6 糞尿処理

飼料班

- 1 施肥等の肥培管理
技術
- 2 作付時期および
収穫時期の検討
- 3 安定した飼料生産
技術の習得
- 4 飼料栽培調製技術
の習得
- 5 作業体系および機
械利用の習得

実習等の様子 (第42~45期生)



人工授精実習



発育調査



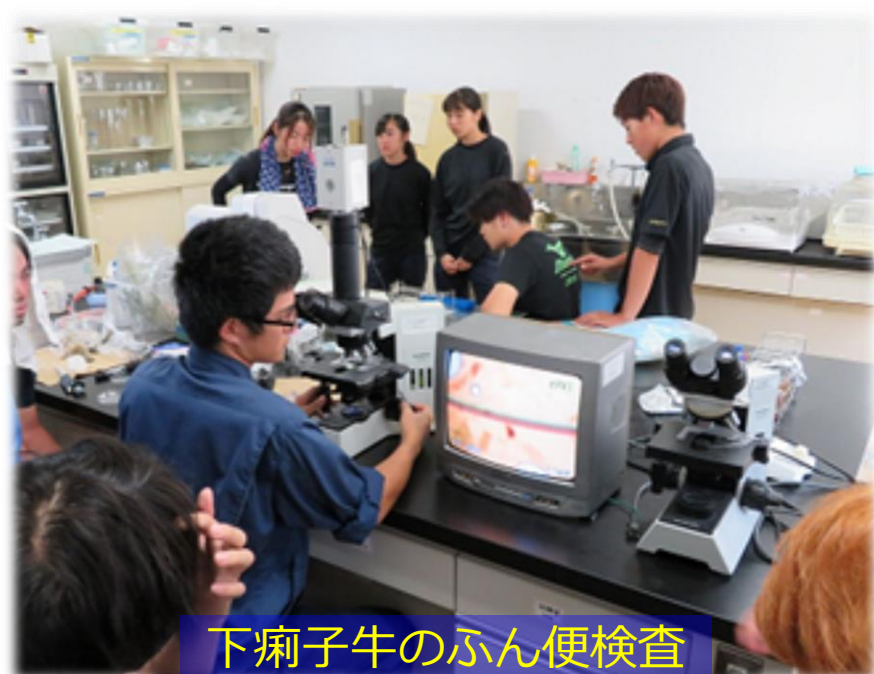
削蹄講習会



飼料作物収穫実習



分娩管理実習



下痢子牛のふん便検査



県畜産共進会への出品



自家産牛の食味試験

行事



農大祭の牛肉販売（1年生）



九州体育大会：R6は宮崎県



校内プロジェクト・意見発表会

特色ある教育活動

全国農業大学校プロジェクト発表会 & ヤンマー学生懸賞論文・作文受賞



【全国農業大学校プロジェクト発表会】

○プロジェクト発表の部

特別賞：(R 5), 優秀賞：(R 4)

農林水産大臣賞 (R元)

○意見発表の部

優良賞：(R 3)

【ヤンマー学生懸賞論文・作文受賞】

○論文の部

優秀賞 1名,

特別優秀賞 1グループ 2名 (R 5)

○作文の部

銀賞 1名, 銅賞 6名, 奨励賞 3名 (R 5)

銅賞 5名・奨励賞 2名 (R 4)

銅賞 2名 (R 3)



鹿児島農大 肉用牛科へ

入学お持ちしています！